

第3回 仙台市中学校長会総会 会長挨拶

平成21年4月27日(月)

日々に新緑が美しい季節になり、本格的な春を迎えたこのよき日に、第3回仙台市中学校長会総会を開催するに当たりまして、ご多忙中のところ、仙台市教育委員会 教育長 荒井 崇 様をはじめ、市教委の方々、関係機関の方々、そして歴代校長会長の先輩の方々のご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて平成21年度がスタートして3週間余り、始業式、保護者会、修学旅行等の行事が行われていることと思います。それぞれの学校で特色ある教育課程を編成して、学校運営にあたっていることと思います。

今年度は、小・中学校にとっては新学習指導要領の移行措置の初年度であります。三つの基本方針である

「教育基本法改正等で明確となった教育の理念を踏まえ生きる力を育成すること」
「知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視すること」
「道徳教育や体育等の充実により、個人として、社会の一員として生きる基盤を育てる」

を目指しております。

仙台市教育委員会が掲げる学校・家庭・地域が協働して豊かな教育環境を創出して「地域とともに歩む学校」を目指し、また、最重要事項として

「健やかな心と体の育成」
「確かな学力の育成」
「自分づくり教育の推進」が大きな柱として取り組むこととしています。

その推進として中学校現場を預かる校長として、今年度より地域連携担当教員の配置により、学校支援地域事業の推進を進め、積極的に地域人材資源の発掘であり、連携した教育活動の推進であります。

次に「確かな学力の育成」を目指して、教育指導手法の充実であり、教育環境の充実であります。なんと言っても家庭と連携して学力の基礎となる基本的な生活習慣の確立や家庭学習の習慣を確立する努力と継続的な活動であります。教員の授業力の向上であり、その手法には、さまざまな形で各学校が地道な活動を推進していると思います。

次に学校評価システム構築と評価結果の公表による説明責任を果たし、更に精度の高い評価システムを目指さなければなりません。

義務教育の質の保障と向上を図り、組織的・継続的な学校改善につなげる学校評価の推進であります。

今年度3年目になります教員評価ですが、教職員の資質・技能の向上として各学校が校内研修体制の確立と推進はもちろんのこと、教職員評価のマネジメントサイクルの取り組みであり、状況や課題に応じた具体的な指導助言、改善に向けた校長の指導が求められ

ています。

今年度からスタートする教員免許更新制です。社会状況に応じた教員に必要な資質能力が保持できるような更新講習であります。

次に、仙台市中学校長会して県と分離して3年目を迎え、校長会を運営するに当たり、本会の目的である

- ・ 校長相互の連絡・連携
- ・ 今日的な中学校教育の研究・協議と会員の研修の強化
- ・ 関係機関との連携と市民への情報発信

であります。

これらを踏まえ、今年度の重要課題として5点挙げられます。

1. 校長会組織の機能のより一層の充実と活動の活性化であります。
2. 確かな学力向上と個性を生かす教育の推進であります。
3. 今年度末にある公立高校入試の全県一学区制への対応であります。このことにつきましては、県・市と連携しながら具体的な活動を検討しているところです。
4. 大都市中学校長会が十八都市になり、共通する大都市間の課題がより検討する議論が深まり、成果を上げているところでございます。今年度は千葉市で開催されます。
5. 校長としての危機管理能力の向上と研修の強化であります。

これまでの課題等につきましては、これまで以上に市教委、関係諸機関の指導助言をいただきながら活動を推進したいと思います。引き続き、本中学校長会にお力添えをいただきたいと思えます。

最後になりましたが、ここにご参会の皆様方のご多幸とご健勝を祈念申し上げ、会長挨拶といたします。

本日はありがとうございます。